

令和4年度

# 一般会計 決算討論

賛成多数で認定

賛成

市民生活支援と安定的財政運営の両立を評価

青藍会 板倉篤 議員

決算規模は縮小したが、歳入では経済活動の回復傾向を反映して市民税は個人・法人ともに増収した。実質収支額は27億円の黒字であったことを確認した。市税の収納率は年々向上を続けており、令和4年度は99.3%と埼玉県40市中1位となったことは高く評価する。

物価高騰が続くが、今後も必要な事業を適時行うために、基金の適正な管理運用をはじめ長期的視点に立った安定的な市政運営をお願いします。

賛成

自主財源確保への取り組みを評価

公明党 古越孝子 議員

自主財源の根幹となる市税では、効率かつ効果的に徴収を進め、収納率が過去最高の99.3%となり、埼玉県内の40市の中で第1位となった。市の税財源確保への取り組みを評価する。

市民生活や地域経済を支援するため適切な事業運営が行われ、福祉行政は市民のニーズに応えられるよう重層的支援体制整備事業が本格実施となった。持続可能な安定した財政運営の推進を今後も期待し賛成とする。

反対

市独自政策に黒字財源を生かせ

日本共産党 塚越洋一 議員

コロナ対応の施策などの政策展開は、国の定めた財源枠と政策の範囲にとどまり、市民のいのちと暮らし・営業を守るという視点からは不十分な決算である。

実質収支額27億円の黒字、30億円近い不用額、190億円もの各種基金などの財源をもっと有効に活用すべき。学校給食費の無償化、子育て支援政策や高齢者・障がい者福祉、地域経済対策など積極的な政策展開を求める。

賛成

弾力ある財政運営を今後を生かせ

会派外の議員 民部佳代 議員

経済活動の回復による市民税の増など市税収入は増加し、弾力のある財政運営に向けて改善が図られている。

新型コロナウイルス地方創生臨時交付金は物価高騰に対する対応だけでなく、放課後児童クラブのトイレの洋式化など後に残る形で活用できた。

文化芸術企画提案型事業は、単年度事業ではなく見直しを。児童発育・発達支援センターは公営化で相談も増えた。手狭で療育できる人数に限りがあるので、今後に向けて検討を期待する。

賛成

高い意識を次世代への継承に期待

会派外の議員 金濱高頭 議員

歳入は前年度決算と比較して減少したが、市の基礎となる市税については増加となった。また、市税の収納率は県内1位となる99.3%となったことを極めて高く評価する。今後は職員一人ひとりが持つ高い意識を次世代の職員へも継承させてほしい。

歳出は市民が参加する事業についてフィードバックを受ける部分に伸びしろがある。事業とは参加した市民の声で成長をしていくので取り組みをお願いしたい。